

健康保険組合の被扶養者認定基準が変更となりましたのでお知らせします。

## 被扶養者認定基準が改定されます

令和4年4月1日から適用

【認定の原則】 別居家族を扶養認定する場合の仕送り方法について明示しました。

- 仕送りは振込等、確認が取れる方法とし、現金の手渡しは認めない。

【資格の効力】 被扶養者資格の効力は下記により、追加・削除されることになりました。

### 被扶養者追加

- 被扶養者の認定は、扶養の事実が発生した日とする。  
但し過去の事実発生日を特定、証明できない場合は書類受理日認定とする。

### 被扶養者削除

- 認定時に瑕疵がなく、その後の事情により被扶養者の要件を満たさないこととなった場合には、当該要件を満たさなくなった時点以降（健保組合が定めた日）に被扶養者資格を削除する。（例：収入限度額を超過など）
- 認定時に瑕疵があり、被扶養者の要件を満たしていないことが判明した場合には、認定時に遡って取り消す。（例：失業保険受給、被保険者資格取得など）



【組合の調査権】 被扶養者認定に関する調査権（検認）の運用方法が変更になりました。

- 被扶養者の資格が適正かつ公平に運用されているか被保険者に対し現況調査（検認）を年1回実施する。

被扶養者認定基準の変更点（認定の原則、資格の効力、組合の調査権）

① 別居家族を扶養認定する場合の仕送り方法を明示しました。

仕送りは振込等、確認が取れる方法とし現金手渡しは認めない。

具体的には、生計を維持している証明として送金証明書等が必要

（送金元・送金先の氏名・送金日・送金額が確認できる振込通知書の写しまたは現金書留の写し）

② 被扶養者資格の効力が、下記内容に変更となりました。

《変更前》

被扶養者資格の効力は、下記により被保険者が健康保険被扶養者異動届を提出することにより資格発効

【認定日】 （出生）→出生年月日が認定日

（結婚）→婚姻日 1 カ月以内の申請届出ならば事実発生日が認定日

（上記事項以外）→事実発生 5 日以内の届出の場合、事実発生日に遡及された日が認定日

届出遅延の場合遅延理由により組合の認定日

【削除日】 （死亡）→事実発生の翌日を喪失日

（上記事項以外）→事実発生 5 日以内の届出、届出が遅延した場合遅延理由により遡及して削除

## 《変更後》令和 4 年 4 月 1 日から適用

被扶養者資格の効力は、下記により資格が発効（健康保険被扶養者異動届の提出は変更前と変わらず必要）

【認定日】 （出生）→出生年月日が認定日

（上記事項以外）→**扶養の事実が発生した日を認定日**、但し過去の事実発生日を特定・証明できない場合、書類受理日が認定日

【削除日】 （死亡）→事実発生の翌日を喪失日

（上記事項以外）→**認定時に瑕疵がなく、その後被扶養者要件を満たさなくなった場合当該要件を満たさなくなった時点以降（健保組合が定めた日）が喪失日**

→認定時に瑕疵があり、被扶養者要件を満たさしていない場合、認定時まで遡って認定自体が取り消しとなる

令和 4 年 4 月 1 日以降の認定、削除に関しては基本事実発生まで認定及び削除は遡及されることとなります。

特に注意していただきたいのは健保への届出が遅くなり、削除日以降に資格喪失者として保険給付等を受取った場合、全額返還請求されることとなりますので、遅滞なく届出をするように、対象者への周知よろしくお願いします。

### ③ 組合の調査権

被扶養者の資格が適正、公平に運用されているか被保険者に対し現況調査(被扶養者資格確認(検認))を年に 1 度実施する。

健康保険組合の健診等補助金支給規定が変更となりましたのでお知らせします。

## 健診等の補助金支給規定が変わります

令和4年4月1日受診分から適用

**【追加事項】**


- 人間ドックの補助に、脳ドックが含まれることになりました。
- 乳がん単独検診（クリニック等）において、マンモグラフィ検査およびエコー検査を両方受診する場合、10,000円（実費相当額）支給します。

**【変更事項】**

- 子宮頸がん単独検診（クリニック等）  
変更前 補助上限額 5,000円 → 変更後 **補助上限額 7,000円**
- 胃二次検査（保険診療分）  
変更前 補助上限額 5,000円 → 変更後 **補助上限額 7,000円**
- インフルエンザ予防接種  
変更前 補助額：予防接種費用から、自己負担額2,000円を差し引いた額  
→ 変更後 **補助上限額 2,000円（年度内1回のみ）**  
※2,000円以下の場合は、実費を上限とする。

例

予防接種費用 3,800円の場合：	変更前 補助 1,800円	→ 変更後 補助 2,000円
予防接種費用 4,200円の場合：	変更前 補助 2,200円	



### 《健診等補助金支給規定の追加、変更点》 令和4年4月1日受診分から適用

#### 【追加点】

- ・ 従前から記載のある各種がん検診、人間ドックに加え脳ドックについても補助金対象となることを明示
- ・ 乳がんの個人検診（医療機関等における単独検診）

マンモグラフィ検査及びエコー検査を両方受診する場合 10,000円（実費相当額）支給

（検診補助申請時、両方（マンモグラフィ検査、エコー検査）受診内容が記載された領収書等添付）

#### 【変更点】 補助金の額の一部変更

- ・ 子宮頸がんの個人検診（医療機関等における単独検診）

（変更前） 補助上限 5,000円 → （変更後） 補助上限 7,000円

- ・ 胃がん二次健診（保険診療分）

（変更前） 補助上限 5,000円 → （変更後） 補助上限 7,000円

- ・ インフルエンザ予防接種補助金

（変更前） 自己負担額 2,000円を差し引いた額

↓

（変更後） 補助上限額 2,000円、年度内に1回のみ

（2,000円以下の場合は実費を上限とする）